

今日のトピック **メキシコ中銀が0.5%の利上げを決定** **物価高や米国の利上げを受け金融引き締めを継続**

ポイント1 政策金利は6.5%に

- メキシコ銀行（中央銀行、中銀）は3月24日に金融政策決定会合を開き、政策金利を6.0%から6.5%に引き上げました。中銀による利上げはこれで7会合連続となり、高止まりが続くインフレや米国など海外の主要中銀による利上げの動きに対応した政策決定となりました。

ポイント2 インフレは高止まり、 景気はやや下振れ

- 2月のメキシコの消費者物価指数は、食料品やエネルギー価格の上昇を主因に、前年同月比で7.28%の上昇となりました。ウクライナ情勢の影響もあり当面はインフレの高止まりが続くものと思われることから、弊社では2022年のインフレ見通しを従来の+4.5%から+5.5%に引き上げました。
- メキシコ経済は順調な雇用拡大を背景に回復基調を維持していますが、高水準のインフレやサプライチェーンの混乱による下押し圧力が顕在化してきています。このため、弊社では2022年の実質GDP成長率の予想について、+2.5%から+1.9%に下方修正しました。

今後の展開

金融引き締めは継続、 利上げペースは米国次第か

- 弊社ではメキシコの政策金利は年末までに8.0%まで引き上げられると予想していますが、今後の利上げペースについては、米国の金融政策の動向に左右されることになりそうです。
- メキシコペソは、ロシアによるウクライナ侵攻により世界の金融市場が大きく動揺した局面では一時的に弱含みましたが、その後は反転し堅調な推移が続いています。弊社では、通貨ペソは今後も1米ドル = 20ペソを中心としたレンジ内での底堅い推移が続くものと予想しています。

ここも チェック!

2022年2月14日 **メキシコ中銀が前回会合に続き0.5%の利上げ**
2022年1月 6日 **メキシコ金融市場 2021年の回顧と2022年の展望**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

